



## 阪神・淡路大震災 から 20 年 震災資料保管庫の特別公開について

(震災資料保管庫、人と防災未来センター、兵庫県立美術館連携企画)

阪神高速道路株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:山澤 俱和)は、阪神・淡路大震災から 20 年を迎える平成 27 年 1 月に、都市直下型の地震により甚大な被害を被った阪神高速道路の構造物を保管している「震災資料保管庫」を一般の皆さまを対象に特別公開いたします(事前申し込み制)。

また、阪神・淡路大震災から 20 年をテーマとして、「人と防災未来センター」では特別企画展が、「兵庫県立美術館」では展覧会が開催されています。

### 震災資料保管庫

- ・阪神淡路大震災での被災経験を風化させることなく後世に継承するため、また、今後の防災対策の研究の一助となることを願い、特徴的な被災構造物 34 点を展示しています。
- ・国内外を問わず、行政関係者や専門技術者、小学校の地震防災学習の観点での見学など、多くの方々にご来場頂いております。
- ・毎月第 1 週及び第 3 週の水曜・日曜に限り一般の皆さまの見学を受け付けております。



特別公開日:平成 27 年 1 月 10 日(土)・11 日(日) 10:00 ~ 15:00 (最終受付)

毎時 00 分に見学開始(所要時間:約 50 分)

場 所:神戸市東灘区深江浜町 11-1 (別紙参照)

(特別公開日に限り、阪神電車深江駅~保管庫 を結ぶ無料シャトルバスを運行します)

内 容:プレゼンテーションでの DVD 上映、保管庫の案内

参 加 費:無料

応募方法:当社ホームページ( )からの事前申し込み制

(見学時間帯を第 3 希望まで受付、後日、ご見学いただける日時をご連絡)

( <http://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/topics/201501hokanko.html> )

応募期間:平成 26 年 11 月 25 日(火)から平成 26 年 12 月 15 日(月)まで

注意事項:申し込み多数の場合は、第 2・3 希望の日時にご見学いただくこともあります

なお、その他詳細につきましては別途ご案内します

他施設との連携:「兵庫県立美術館」及び「人と防災未来センター」(神戸市中央区・HAT 神戸内)と「震災資料保管庫」を結ぶ無料シャトルバスを運行します

人と防災未来センター ...特別企画展「1.17 阪神・淡路大震災 20 年 伝えよう未来へ 世界へ」を開催中

「語り部」による震災時体験談を実施

兵庫県立美術館 ...震災と美術・美術館について多角的に取り上げた県美プログラム「阪神・淡路大震災 20 年」展を開催中

上記展示のボランティアガイドツアーを実施

「人と防災未来センター」及び「兵庫県立美術館」の観覧料は個人でご負担願います

主 催:阪神高速道路株式会社

共 催:一般財団法人阪神高速道路技術センター

協 力:阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、兵庫県立美術館

そ の 他:特別公開のご取材については、後日、ご案内申し上げます。

「震災資料保管庫」

住所：神戸市東灘区深江浜町 11-1

お車でお越しの方：阪神高速 5 号湾岸線深江浜ランプ から約 5 分  
(敷地内に無料駐車スペースがあります。)

電車でお越しの方：阪神電車深江駅から約 10 分 または 徒歩約 30 分  
(特別公開日に限り、阪神電車深江駅～保管庫 を結ぶ無料シャトルバスを運行します。  
なお、詳細につきましては、お申し込みいただいた方に別途ご案内します。)

【位置図】

